

2019年10月16日

東京オリンピック・パラリンピック開催に関する 千葉県民の意識調査結果（3回目）

株式会社ちばぎん総合研究所
代表取締役 水野 創

オリンピック開幕まで1年を切るなか、東京2020オリンピック・パラリンピック（以下、オリ・パラ）を成功へ導くためのさまざまな取り組みが進められている。運営面では、ボランティアや聖火ランナーの募集、観戦チケットの販売も始まった。そこで、千葉県民のオリ・パラに対する意識を明らかにするため、パラリンピック観戦チケットの第1次抽選申込終了に合わせたタイミングでアンケート調査を実施し、10月2日に同抽選結果が出たことに合わせて、公表することとした。同調査は2018年8月、2019年3月にも実施しており、県民のオリ・パラに対する意識や関心の変化についても比較を行った。

なお、本調査は今後も折をみて行い、千葉県民のオリ・パラ開催に関する意識や関心に係る経年変化を継続的に発信していく方針である。

《結果要旨》

- 県内開催競技の認知度は、緩やかに上昇しつつある。もっとも、認知度の水準は「サーフィン」が約7割と突出して高い反面、他の競技は2割未満であり、特にパラ競技については、引き続き1割未満にとどまる。
- 千葉市および一宮町における住民の競技開催地の認知度は5割で、前回比上昇。一方、住んでいる市町がホストタウンであることを認知している住民の割合は引き続き2割未満で、市町によって認知度に差がみられる。
- 競技観戦意向は、オリンピック競技が約4割で、前回比若干低下。パラリンピック競技が約3割で同水準。
- パラリンピックの観戦に「行きたいと思わない」と回答した理由は、「テレビ、インターネットで観戦したい」が4割で、「チケット価格が高い」が続く。
- 県内開催競技の観戦チケットを申し込んだ人の割合は、オリンピック競技6.2%、パラリンピック競技3.2%（この結果については10ページ（注）参照）。
- オリ・パラ開催後に期待する効果では、「スポーツの振興」が3割と最も高い。一方で、期待していない人も3割程度おり、全体的に低下傾向。

1. 調査概要

| | 第3回 | 第2回 | 第1回 |
|-------|-----------------------|---------------|--------------|
| 実施時期 | 2019年9月10～16日 | 2019年3月19～22日 | 2018年8月9～16日 |
| 調査手法 | インターネットを介したWEBアンケート調査 | | |
| 調査対象 | 千葉県在住の15歳以上の男女 | | |
| サンプル数 | 1,000人 | | |

回答者の居住地

| | | 第3回 | | 第2回 | | 第1回 | |
|------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 回答数(人) | 割合(%) | 回答数(人) | 割合(%) | 回答数(人) | 割合(%) |
| 開催地 | 千葉市 | 80 | 8.0 | 80 | 8.0 | 80 | 8.0 |
| | 一宮町 | 7 | 0.7 | 7 | 0.7 | 7 | 0.7 |
| ホスト タウン | 銚子市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | - | - |
| | 市川市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 船橋市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 館山市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | ★木更津市 | 40 | 4.0 | - | - | - | - |
| | 松戸市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 成田市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 佐倉市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 印西市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 旭市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | ★柏市 | 40 | 4.0 | - | - | - | - |
| | 市原市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 流山市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 浦安市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| | 山武市 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 | 40 | 4.0 |
| 横芝光町 | 15 | 1.5 | 15 | 1.5 | 15 | 1.5 | |
| その他県内 | | 298 | 29.8 | 378 | 37.8 | 418 | 41.8 |
| 合計 | | 1,000 | 100.0 | 1,000 | 100.0 | 1,000 | 100.0 |

★木更津市：2019年8月にナイジェリアのホストタウンとして登録

★柏市：2019年4月に英国のホストタウンとして登録

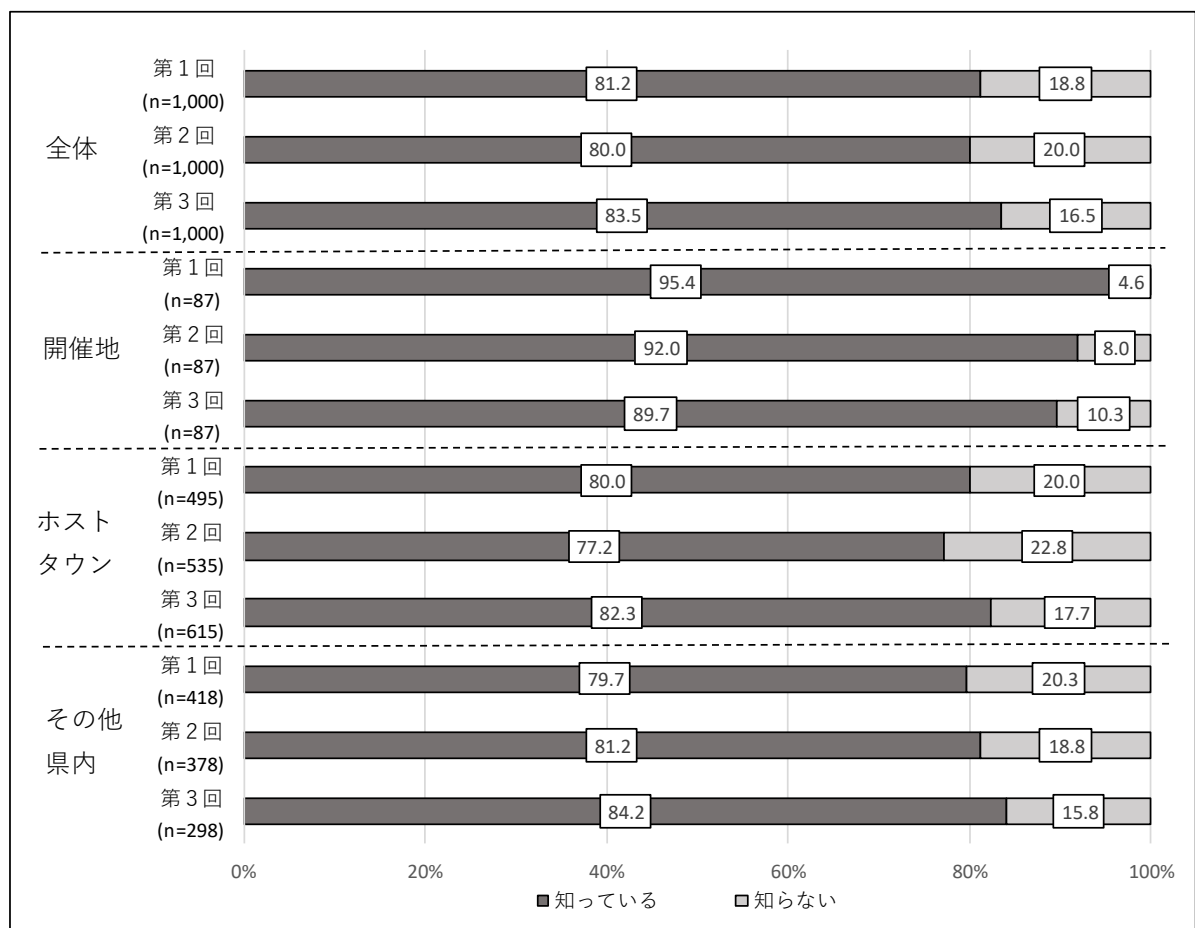
2. 調査結果

① 県内でのオリ・パラ競技開催の認知度

千葉県においてオリ・パラ競技が開催されることに対する認知度をみると、「知っている」(83.5%)が8割、「知らない」(16.5%)が2割となった。前回調査との比較では、認知度は微増となった。

居住地別¹(開催地、ホストタウン、その他県内市町村)にみると、「知っている」と回答した居住地の割合は、「開催地」(89.7%)が最も多く、「その他県内」(84.2%)、「ホストタウン」(82.3%)と続く。前回調査との比較では、「開催地」で低下、「ホストタウン」、「その他県内」で上昇と区々の動きとなった。

図表 1 千葉県におけるオリ・パラ開催の認知度



¹ 開催地 (2) : 千葉市、一宮町

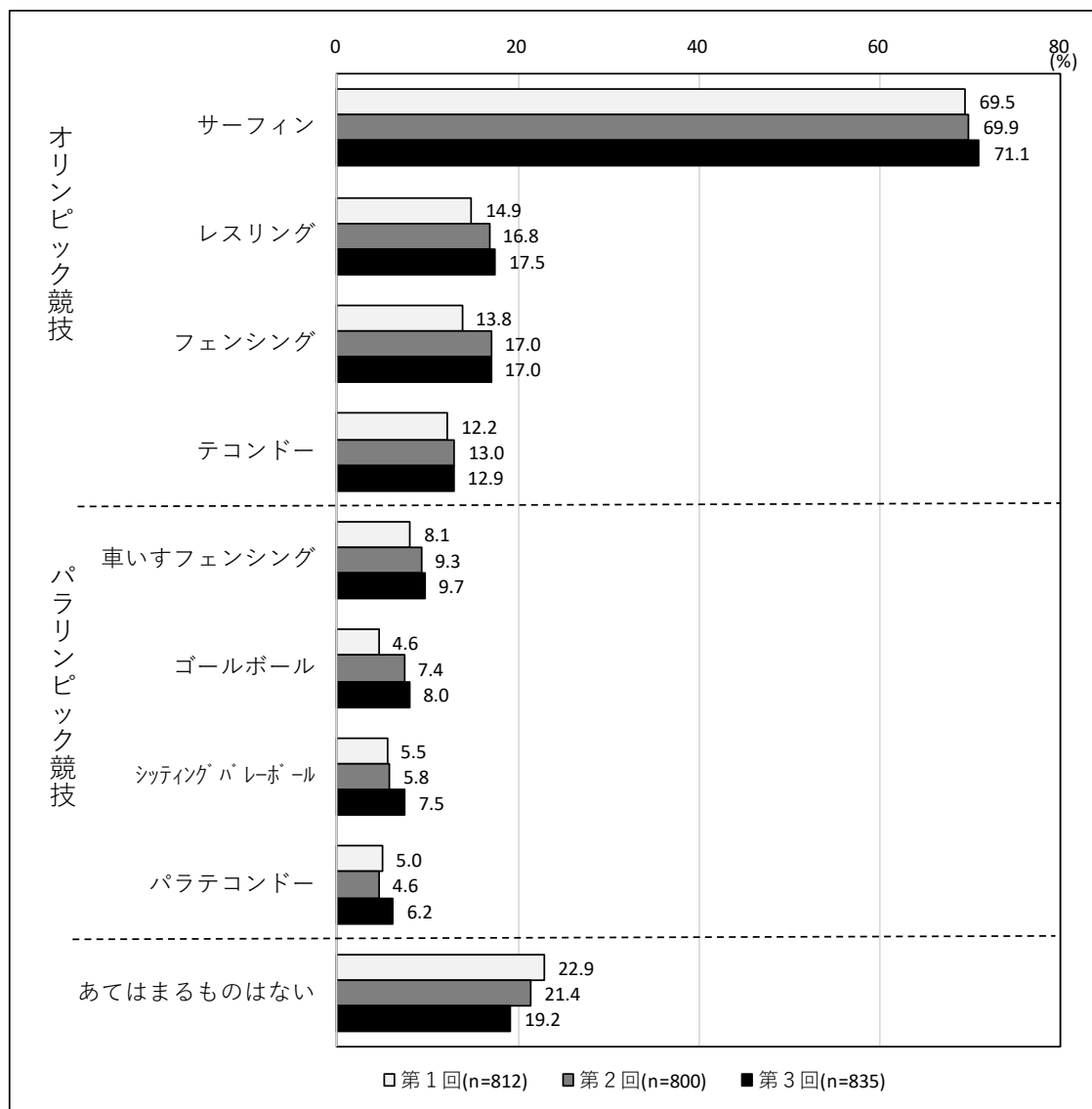
ホストタウン (16) : 銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、成田市、佐倉市、印西市、旭市、柏市、市原市、流山市、浦安市、山武市、横芝光町

② 県内で開催される競技の認知度

県内開催を「知っている」と回答した人に対して、認識している具体的な競技について伺ったところ、オリンピック競技の認知度が2桁台であるのに対して、パラリンピック競技は1桁台にとどまった。

競技別にみると、「サーフィン」(71.1%)の認知度が突出して高かった。前回調査との比較では、ほとんどの競技で小幅上昇した。

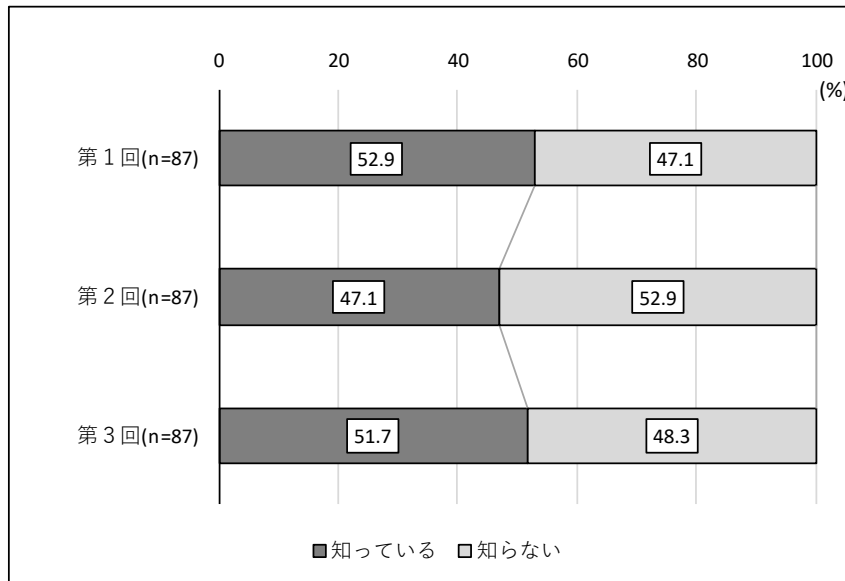
図表 2 県内で開催される競技の認知度



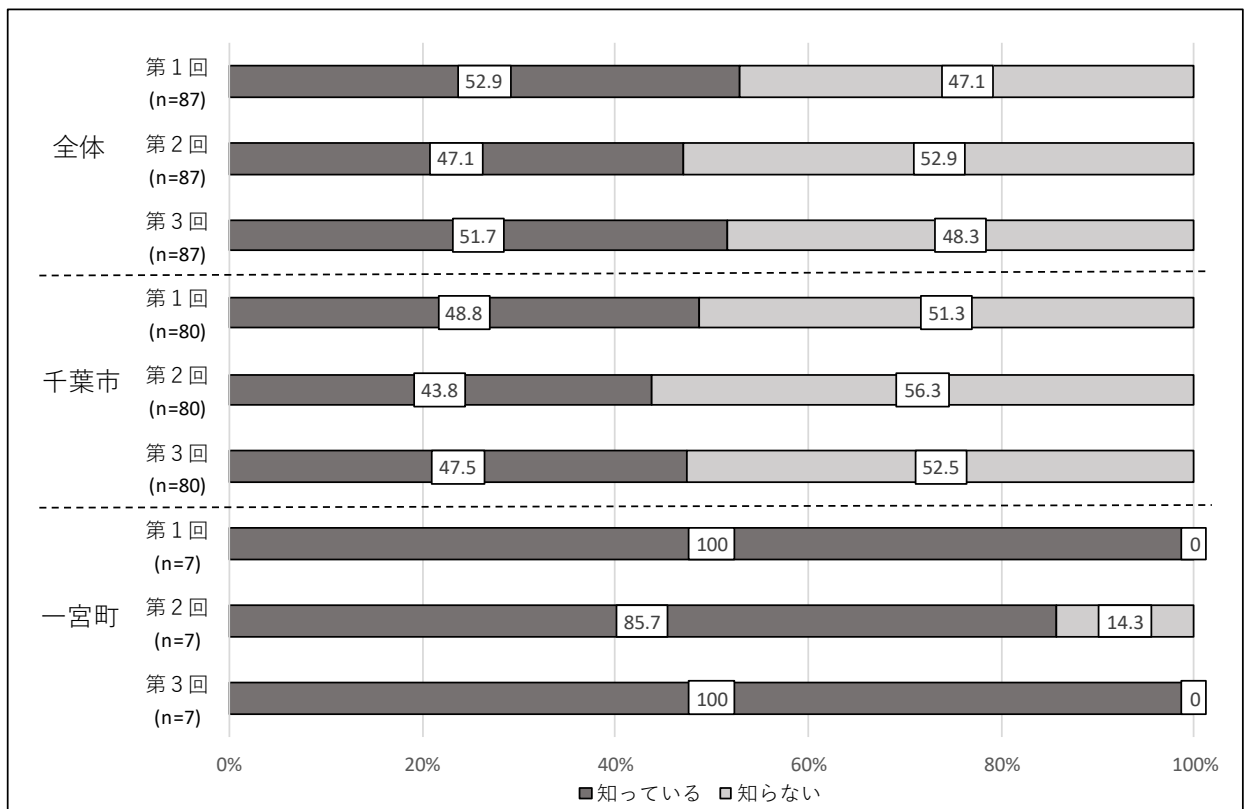
③ 開催地の認知度

開催地（千葉市・一宮町）の住民を対象に、自らの自治体が競技開催地であることを認知しているか伺ったところ、「知っている」と回答した割合は51.7%で前回調査との比較では上昇した。市町別では、千葉市が47.5%、一宮町が100%となった。前回調査比では、両市町とも上昇した。

図表 3 開催地の認知度



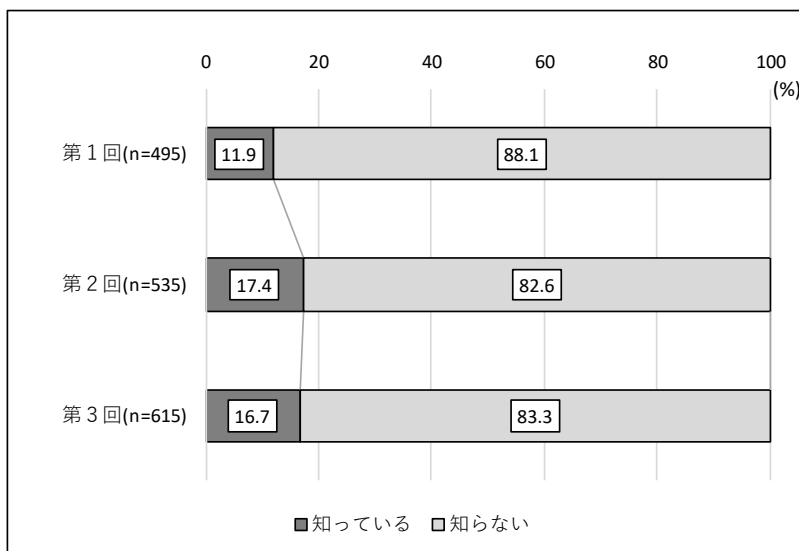
図表 4 開催地の認知度（市町別）



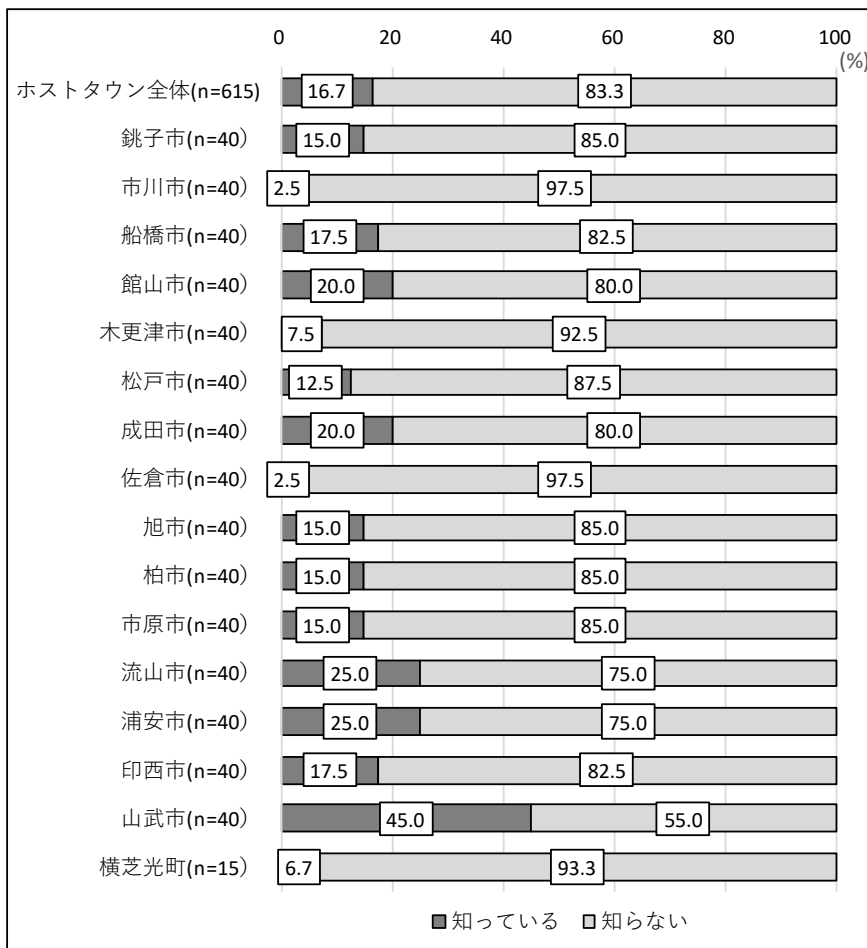
④ ホストタウンの認知度

ホストタウン登録自治体の住民を対象に、自らの自治体がホストタウンであることを認知しているか伺ったところ、「知っている」が2割弱（16.7%）にとどまり、前回調査との比較ではやや低下した。市町別では、2.5～45.0%と差が大きい。

図表 5 ホストタウンの認知度



図表 6 ホストタウンの認知度（市町村別）

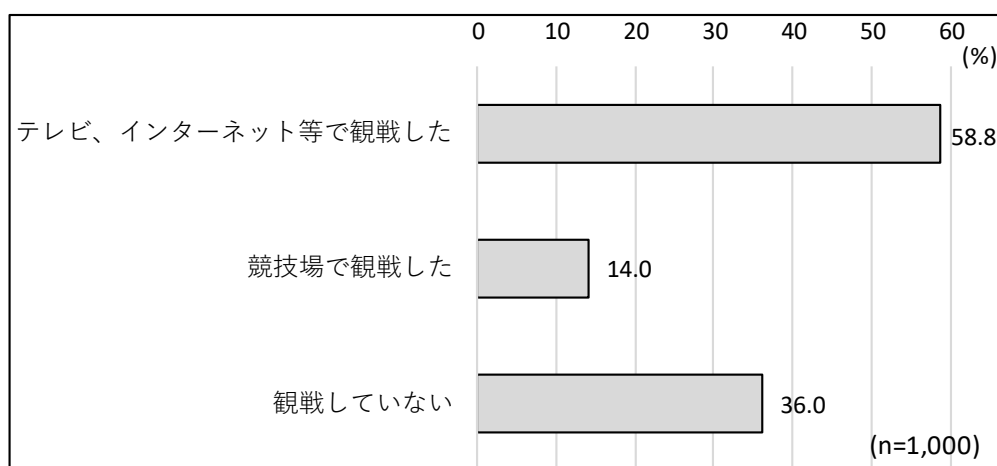


⑤ スポーツ観戦経験【新設問】

過去1年間にスポーツ観戦した経験を伺ったところ、「テレビ、インターネット等で観戦した」(58.8%)が6割、「競技場で観戦した」(14.0%)が1割となった。

一方、「観戦していない」(36.0%)は4割にのぼった。

図表 7 スポーツ観戦経験

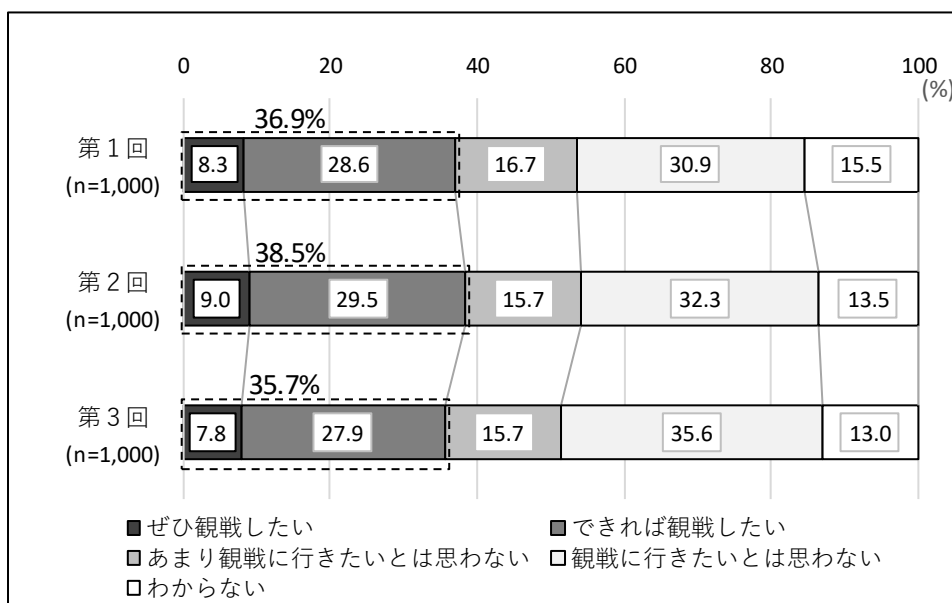


⑥ オリ・パラ競技の観戦意向

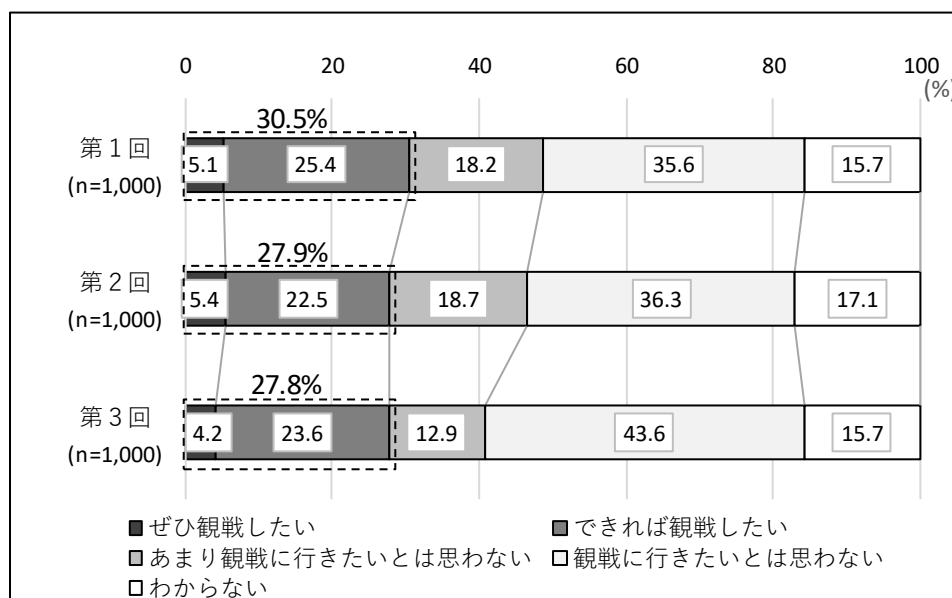
オリ・パラ開催期間中の観戦意向をみると、「観戦したい（ぜひ観戦したい＋できれば観戦したい）」と回答した割合は、オリンピック競技で約4割（7.8%＋27.9%）、パラリンピック競技で約3割（4.2%＋23.6%）となった。

前回調査との比較では、オリンピック競技で低下した一方、パラリンピック競技では同水準となった。

図表 8 オリンピック競技の観戦意向



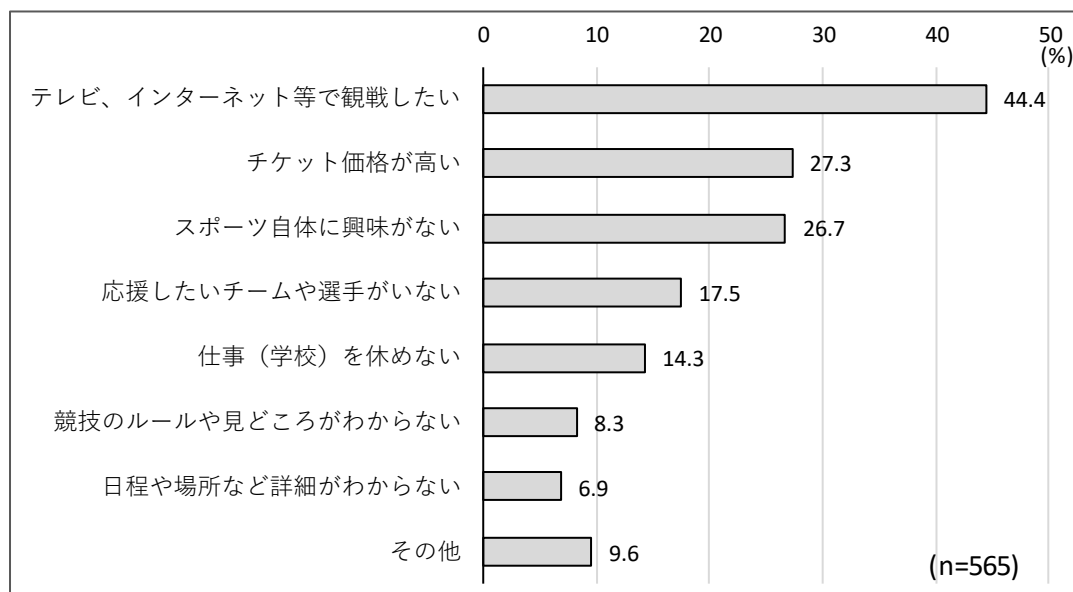
図表 9 パラリンピック競技の観戦意向



⑦ パラリンピックの観戦に行きたいと思わない理由【新設問】

パラリンピック競技の観戦に行きたいと思わない（あまり＋行きたいとは思わない）と回答した人に理由をたずねたところ、「テレビ、インターネット等で観戦したい」（44.4%）が最も多く、「チケット価格が高い」（27.3%）、「スポーツ自体に興味がない」（26.7%）が続いた。

図表 10 パラリンピックの観戦に行きたいと思わない理由



⑧ オリ・パラ観戦チケットの申し込み状況【新設問】

県内開催競技のチケットを申し込んだと回答した割合（県内開催競技のみ＋県内・県外両方）は、オリンピックが6.2%、パラリンピックが3.2%²となった。

図表 11 観戦チケットの申し込み状況（居住地別）

| | | 千葉県内開催競技 のチケットのみ | 千葉県内・県外開 催競技両方 | 千葉県外開催競技 のチケットのみ | 申し込んでいない |
|---------------------------------|--------|---------------------|-------------------|---------------------|----------|
| オリ ン ピ ッ ク | 全体 | 1.6 | 4.6 | 5.7 | 88.1 |
| | 開催地 | 0.0 | 9.2 | 4.6 | 86.2 |
| | ホストタウン | 1.6 | 4.2 | 6.7 | 87.5 |
| | その他県内 | 2.0 | 4.0 | 4.0 | 89.9 |
| パ ラ リ ン ピ ッ ク | 全体 | 1.1 | 2.1 | 1.3 | 95.5 |
| | 開催地 | 3.4 | 1.1 | 1.1 | 94.3 |
| | ホストタウン | 0.8 | 2.1 | 1.6 | 95.4 |
| | その他県内 | 1.0 | 2.3 | 0.7 | 96.0 |

² 10月2日の第一次抽選結果の詳細は公表されていないが、仮に今回のアンケート調査結果と同じ割合で、全県民がパラリンピック県内競技の観戦を1枚ずつ申し込んだとすると、県内で20万枚が消化される計算になる。第一次抽選では、開催日（休日）や試合（決勝戦など）によっては、県内競技でも落選者が出る結果となっており、相応の売れ行きも期待される。今後、チケット完売に向け第二次抽選や窓口販売では、売り出し枚数や売れ行き状況の公表が求められる。

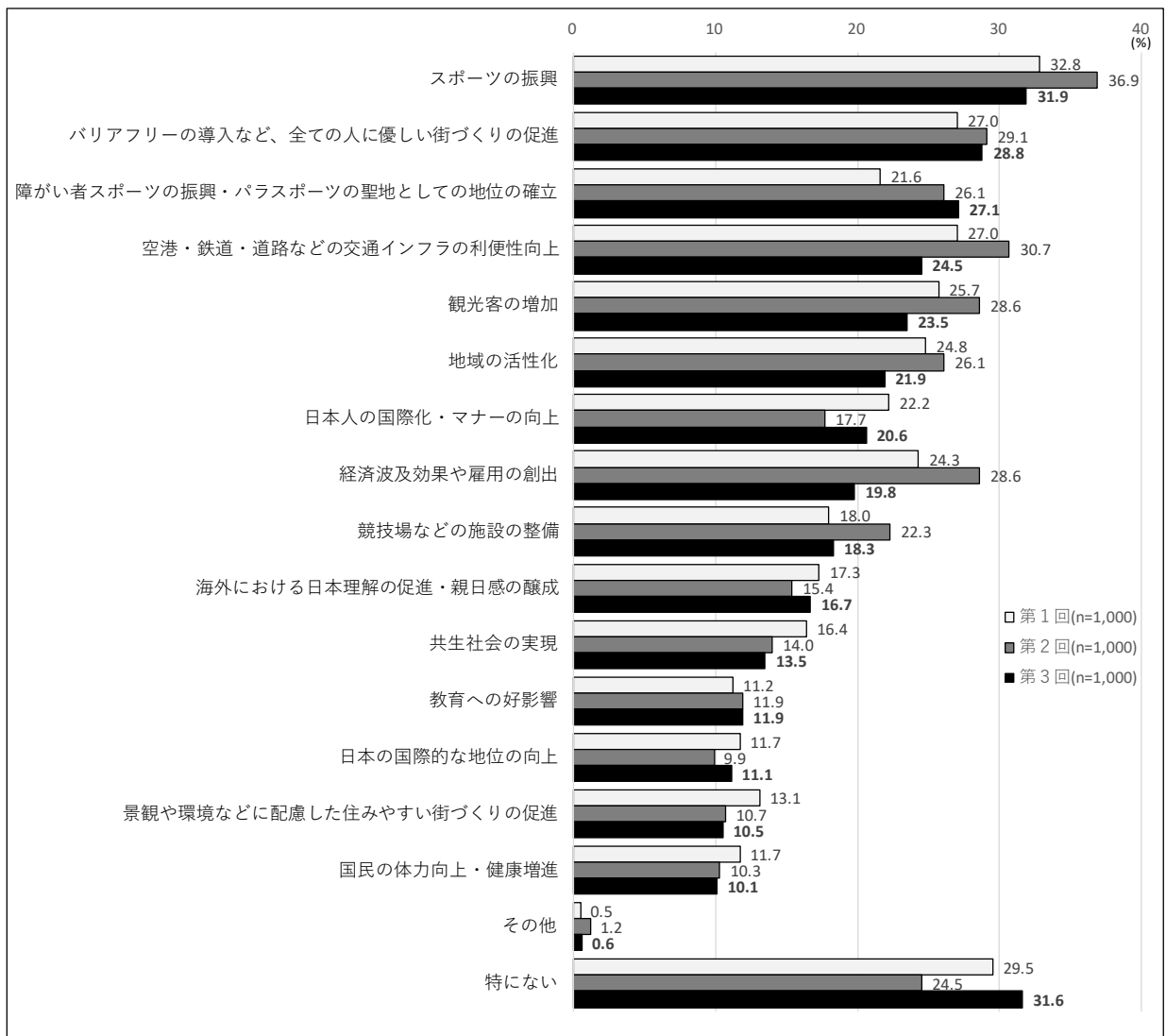
⑨ オリ・パラ開催後に期待する効果（レガシー）

オリ・パラ開催後に期待する効果を見ると、「スポーツの振興」(31.9%)が最も多く、「バリアフリーの導入など、全ての人に優しい街づくりの促進」(28.8%)、「障がい者スポーツの振興・パラスポーツの聖地としての地位の確立」(27.1%)、「空港・鉄道・道路などの交通インフラの利便性向上」(24.5%)、「観光客の増加」(23.5%)が続いた。

一方で、「特になし」と回答した先も3割(31.6%)を占めた。

前回調査との比較では、「経済波及効果や雇用の創出」(▲8.8%)、「空港・鉄道・道路などの交通インフラの利便性向上」(▲6.2%)、「観光客の増加」(▲5.1%)の減少が大きい。

図表 12 オリ・パラ開催後に期待する効果（レガシー）



以上